

# まがりの詩あしたの詩



日本作詩家協会年刊詩謡集

1983年版

友の詩友への詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1983年版

## 序 文

石 本 美由起

年に一度、この「詩謡集」で顔を合わせる人たちは、私の最も親しみを感じる人たちです。

いつも見馴れた人の作品が見あたらないと、気になったり、心配したり、ちよつと淋しくなるのです。

定形詩の少なくなった現在、……定形詩の価値を再発見するのは、この「詩謡集」だと思います。

日本語の乱れが案じられる現在、……日本語の正しさを確認するのも、この「詩謡集」だと思います。

今年も、参加して頂いたみなさんに、私は心より感謝いたします。

あまりの嬉しさに、自然と顔がほころびます。

もくじ 〔氏名 イロハ順〕

序	文	石本	美由起	一
れんげ草	伊藤	一生	六	
未練橋	市川	武志	九	
能登の風唄	岩田	道之輔	三	
出合いがしらの恋	岩瀬	ひろし	三	
ウスユキソウ	井田	誠一	三	
母と子の星	板倉	文子	三	
冷や酒 酒場	いたくらひろゆき		四	
それは私が言うセリフ	伊丹	将人	五	
天城湯の里こぬか雨	伊野上	のぼる	六	
君の名は「玉三佐」	今村	恭子	七	
初恋衣裳	池上	信	六	
紙人形	池田	充男	元	
おもいで荘	石井	まこと	三	
雪の挽歌	石川	泰久	三	
紅の花	石田	龍平	三	
女はかもめ	石本	美由起	三	
燃えて京都	畑	よしかず	四	
あじさいの咲く頃	羽村	真人	五	

男の出番……………	涙……………	真佐戸……………	弐
逢いたくて……………	長谷川……………	洋……………	弐
涙町流れ町……………	はぜやま……………	清美……………	弐
夜明けのカーフェリー……………	坂東……………	流舟……………	弐
郷愁……………	伴在……………	主計……………	四
陽だまり……………	仁位……………	美由紀……………	四
初恋ごころ……………	仁礼……………	美智雄……………	四
おもいやり……………	西……………	順子……………	四
エンヤコラヤ泣いています……………	西川……………	孝雄……………	四
遠花火……………	西沢……………	爽……………	四
12人の踊り子……………	星野……………	哲郎……………	四
おまえの味……………	星合……………	節子……………	四
奥久慈無情……………	本多……………	祈美男……………	四
涙のステージ……………	本間……………	繁義……………	四
天の川旅情……………	鳥羽……………	貞子……………	五
夢先案内……………	戸成……………	ふさ栄……………	五
白衣の夢よさようなら……………	富山……………	紫峰……………	五
愛の杖……………	外松……………	たつ雄……………	五
黙ってついて来な……………	戸枝……………	ひろし……………	五
日本海はなれ旅……………	富田……………	清吾……………	五
帰って来て……………	飛田……………	正治……………	五
酒場の風車……………	千葉……………	幸雄……………	五
この広い空のどこかに……………	貫井……………	昭五……………	五
伊賀越の仇討……………	小原……………	正列……………	五

バイオレンス・ラヴ	おち	としこ	㊦
さよなら草紙	折井	一光	㊦
女の分水嶺	折戸	勝史	㊦
噂にしないで	大沼	里榮	㊦
つむぎの女	おおば	しげき	㊦
ふたりの絆	大橋	哲郎	㊦
海ぞいホテル	大月	流	㊦
星ふる街	大月	紫風	㊦
花アレルギ―	大野	卓	㊦
君はふるさとへ	大屋	哲夫	㊦
忘れるのが下手	おおやぶ	直子	㊦
しなやかに華やいでみたい	大前	裕子	㊦
女の番外地	大澤	陽央	㊦
わかれ唄	大坂	秀次郎	㊦
東京わかれ唄	大溝	玲子	㊦
密約	大森	富士子	㊦
花ざくろの憂愁	小川	淳	㊦
涙で割って飲む酒は	小川	比富美	㊦
京都雨模様	岡本	和子	㊦
妻恋流れ節	おだ	みさを	㊦
恋情わらべ唄	小高	つた子	㊦
漁り火の女	小野	津加佐	㊦
内部事情	荻原	秀夫	㊦
あなたの四季	帯谷	瑛之介	㊦

夢	路	表	八千代	四
伴せまわり道	若林	澄人	登	
星 祭	若山	かほる	六	
北の雄冬は恋不知	渡辺	千楨	七	
なあ 順子	渡辺	治	八	
ついて来な	渡辺	和於	九	
悪魔がジャズを歌ってる	甲斐	新	十	
花巻ワルツ	門井	八郎	十一	
たずね 酒	加藤	完二	十二	
くわえ煙草で抱かないで	河井	哲治	十三	
訳け あり	川合	秀夫	十四	
台北の旅	川西	美智子	十五	
恋の狩人	かわうち	登	十六	
ふるさと讃歌	金子	知司	十七	
雨のテニスコート	角海	夜詩次	十八	
幸せ捜してね	鎌田	勝	十九	
嵯峨野路恋しぐれ	神山	清志	二十	
俺はルンルン気分	米沢	誠造	二十一	
黒 髪	横井	弘	二十二	
港の哭き女	吉田	旺	二十三	
女の廻り道	吉武	肇	二十四	
ふしぎやなあ	吉秋	雅規	二十五	
峠(十六夜峠)	田畑	しげき	二十六	
街角童唄	谷田	草路	二十七	

掛ぶとん	高畑	和之	一〇六
空中ぶらんこ	高畠	諄子	一〇九
さすらい哀歌 <sup>エレジー</sup>	高橋	直人	一一〇
停車場の恋	高取	武	一一一
女の交差点	高上	あゆむ	一一三
酒場のおやし	高田	ゆきお	一一三
千里浜慕情	高野	礼子	一一四
さわやかさん	高柳	裕敏	一一五
海峡しぐれ	高安	弘	一一六
諦めの朝	高瀬	臣子	一一七
鬼怒の舟唄	たなか	ゆきを	一一八
思い出の落葉焼き	田中	凡夫	一二九
望郷の窓	田村	和男	一三〇
愛の四季	田村	忠雄	一三二
スラマト・ティンガル	田村	みどり	一三三
恋灯り	田村	重雄	一三三
そろそろ帰って来ないかい	玉利	要	一三四
つぶやき	玉木	一史	一三五
立石公園の歌	武居	政勝	一三六
悲恋	竹村	勝	一三七
真夏の海の恋のバラード	竹内	きよと	一三六
みぞれ雪	田口	もりを	一三九
北の出船	瀧	竜二	一三〇
雨に濡れても	川	たけお	一三三



琵琶湖有情……………	滝田	常晴……………	一三三
ふるさと相馬……………	相馬	詩彦……………	一三三
しあわせ地獄……………	園田	一俊……………	一三四
おまえにほの字……………	土屋	正敬……………	一三五
ひとり原宿……………	塚谷	清一……………	一三六
みきり船……………	津田	辰臣……………	一三七
綺麗な涙を……………	対馬	慎一郎……………	一三八
雪国雪町雪の宿……………	成瀬	左千夫……………	一三九
なんてあなたはつみな男 <sup>ひと</sup> ……………	中西	寛……………	一四〇
今夜はカンバン……………	中川	連……………	一四一
北の砂丘……………	中村	要子……………	一四二
北国の二人……………	中村	葭一……………	一四三
10円指名……………	仲村	忍……………	一四四
こぼれ花……………	中野	惣太郎……………	一四五
七月の渚……………	中山	大三郎……………	一四六
アリラン慕情……………	中山	二夫……………	一四七
祇園の女……………	中嶋	清一……………	一四八
娘……………	夏	洋……………	一四九
愛の波……………	那須野	巖……………	一五〇
瑠美子……………	難波	淑詩……………	一五一
初恋い星……………	楠里	暁星……………	一五二
この愛は美しく消して……………	室屋	安美……………	一五三
函館なみだ坂……………	室山	多香史……………	一五四
喫茶店での恋……………	村上	周司……………	一五五

失恋そしてひとり……………	村田	安広……………	一五
ゆうすげ女……………	村田	さち子……………	一五
さいはて酒場……………	紫野	ゆき……………	一五
津和野の女……………	内田	善士……………	一五
夜の川……………	詩	和峯……………	一六
お茶の水慕情……………	宇都木	正次……………	一六
青春の翼……………	浦田	常治……………	一六
女の汗は罪の匂い……………	宇山	清太郎……………	一六
昇り龍……………	上羽	ひろし……………	一六
夢ある別れ……………	植田	竹雄……………	一六
望郷岬……………	上野	たけし……………	一六
赤青黄……………	宇佐見	良好……………	一六
お前を一人にはしないさ……………	梅森	祐治……………	一六
帰っておいでよ……………	海乃	渚……………	一六
恋路海岸……………	のたき	ハであき……………	一七
根無し草……………	能丸	武……………	一七
おんな心が泣きます……………	のま	たくま……………	一七
天からの忠告……………	能勢	英男……………	一七
恋無情……………	黒川	良人……………	一七
女ひとり旅……………	くぼた	ほく……………	一七
男の泪……………	栗沢	涼……………	一七
おかえり……………	倉持	明雄……………	一七
見つけて下さい……………	熊	たけし……………	一七
おまえにや俺がついている……………	熊谷	孝雄……………	一七

春待ち峠	日下野	天星	一〇八
北漁村	やま	一男	一〇八
愛情人生	大和	千泉	一〇三
よか雲仙	山門	芳馨	一〇三
男	山上	雅人	一〇四
ブルー・ブルース	山上	路夫	一〇五
人生恋模様	やまだ	りゆう	一〇六
みれん坂	矢真田	真沙恵	一〇七
霧雨橋	山田	晃義	一〇八
下呂慕情	山田	博康	一〇九
嬉野流れ唄	山田	世津夫	一〇九
哀愁のゆきずり酒場	山中	しげる	一一九
口づけのブルース	山口	純	一二三
夜のバラード	山北	由希夫	一二三
早春はひとり旅	山岸	達児	一二四
雨の夜・ひとり泣き	山本	恵三子	一二五
愛の気配	山本	志げみ	一二六
冬の春バラ	矢島	弘英	一二七
夢	松井	由利夫	一二九
ひとりになりたい	松尾	幸雄	一二九
男の拳	松生	静	一三〇
さいはて慕情	松平	史紀	一三〇
雪の思い出	松永	夏女	一三二
あなた待ち待ち	松崎	咲子	一三三

あゝ慕情の彼方……………	松本	好弘……………	二〇四
ああ上高地……………	松本	敦央……………	二〇五
無情出船が憎らしい……………	松本	撰子……………	二〇六
あの娘いとしや山椿……………	前田	利茂……………	二〇七
晩秋おんな川……………	真樹	亜矢……………	二〇八
わたしは女……………	牧野	おさみ……………	二〇九
月の渚の渡り鳥……………	真弓田	幸一……………	二一〇
かざぐるま……………	益田	清……………	二一一
流れてみちのく……………	増子	善典……………	二一二
今頃あいつは……………	剣	あざみ……………	二一三
トマトの唄……………	玄	詩朗……………	二一四
夫婦物語……………	傳	祖恭……………	二一五
ちよつと待って東京……………	ふかまち	じゆん……………	二一六
啄木紀行……………	ふくだ	みのる……………	二一七
つまみ喰い……………	文月	豊……………	二一八
しあわせ時雨……………	藤原	逸露……………	二一九
別れの五箇山……………	藤田	鶴之丞……………	二二〇
秋立ちぬ……………	藤沢	庸子……………	二二二
江ノ島の夜……………	小池	虎夫……………	二二三
未練……………	小出	アキ……………	二二三
人生子守唄……………	こばやし	克至……………	二三四
四十女の燃える性 <small>さが</small> ……………	小林	金次郎……………	二三五
別れのシナリオ……………	こばやし	すみこ……………	二三六
海は満ち潮……………	小林	すみ江……………	二三七

火の国おんな旅……………	ごとう	しんぞう……………	三六
雪になる恋……………	河野	充伸……………	三九
六甲連山花吹雪……………	小谷	健一……………	三〇
奇遇 だね……………	小高	勝義……………	三一
誘惑のエッセイ……………	五分木	敦美……………	三三
ああ興安嶺……………	込山	為安……………	三三
リメンバージュズ……………	越野	みのる……………	三四
摩天楼ブルース……………	こじま	かずみ……………	三五
浮草旅日記……………	小島	高志……………	三六
雪なさけ……………	近藤	しげる……………	三七
さよなら……………	紺野	ただし……………	三八
エリカによせて……………	江橋	富子……………	三九
フィクション・ナイト……………	江口	洗彗……………	四〇
青春 一節……………	海老沢	孝一……………	四一
くれない情話……………	遠藤	新一……………	四二
帰郷……………	出島	ひろし……………	四三
夫 婦 坂……………	愛	行子……………	四四
B面はブルースがよく似合う……………	愛川	あい……………	四五
育てます……………	有吉	まこと……………	四六
鮎掛さん……………	有田	花外……………	四七
紫煙……………	有田	多賀子……………	四八
都わすれ……………	青柳	テル……………	四九
紅提灯……………	青木	三郎……………	五〇
みだれ髪……………	淡島	千佳夫……………	五一

やつのせいさ	あかはた	元康	二五三
雪道	荒川	利夫	二五三
恋しぐれ	荒木	良治	二五三
恋と云う名の小さな港	荒木	忠雄	二五三
下町のクラブ	綾部	孝男	二五三
女の一番いい時を	麻	こよみ	二五三
夫婦道	浅野	哲秋	二五三
愛の花びら散るように	安芸	浩海	二五三
呑んべえ酒場	秋	ひろし	二五三
おまえの肩に雨が降る	秋田	泰治	二五三
みんな見えなくなる峠	秋本	敦	二五三
情け船	秋本	昭	二五三
恋祭り	鮎川	公正	二五三
さいはての宿	飛鳥井	芳朗	二五三
隠れ妻	安東	日出男	二五三
恋しぐれ246	斎藤	清吉	二五三
兄貴風	斎藤	卓	二五三
使つて下さい	里村	龍一	二五三
北へ嫁げば	佐東	たどる	二五三
たかが女……だけど女	佐藤	つた	二五三
夫婦一〇年	サトウ	幸史	二五三
愛の終着駅	佐藤	正美	二五三
未練弘前	佐藤	秀千代	二五三
夜に咲く花	佐藤	英明	二五三

ママさん屋台	佐藤	進	二七六
母さんの詩	さとの	深花	二七〇
不幸なおんな	榊原	康司	二七八
離愁	桜本	繁	二七九
風になりたい	佐久間	常夫	二八〇
天馬ジュピター	佐々木	安伸	二八一
はじめてのひと	咲山	道雄	二八三
北・夜曲	さきゆう	かつみ	二八三
哀シヤードー	木原	悦子	二八四
アヒルの運転手 <sup>ドライブ</sup>	北井	あゆ	二八五
北国旅情	木谷	鴻治	二八六
北の半島・津軽線	木立	雄幸	二八七
一輪差しの花の恋	岐多川	純	二八八
夢おんな・恋おんな	北村	直之	二八九
あなたの金糸雀 <sup>かなりや</sup>	木村	賢司	二九〇
まいまいつぶろ	菊地	英夫	二九一
酔いごころ	木末野	奈	二九三
ただそれだけで	有加利	淳	二九三
うつむけばたそがれて	湯浅	としあき	二九五
ダム <span>の</span> 山峡一軒家	雪野	斗詩夫	二九五
おけさ流れ唄	夢	虹二	二九六
武蔵野秋化粧	道山	直樹	二九七
ユンタの港	三上	博司	二九八
乱れ舞	三谷	勉	二九八

白浜慕情	峰	よしを	三〇〇
歟と土とに	南	かおる	三〇一
追いかけて	南	早苗	三〇二
この子の十五のお祝いに	みや	秀和	三〇三
たなばた	みやげ	知絵	三〇四
村のおやじさん	三宅	立美	三〇五
目覚めれば朝、そして――	三木	悠花	三〇六
悲愁	美貴	ひろこ	三〇七
再会の夜	水上	幸子	三〇八
親父の斧	水野	喬	三〇九
西伊豆海岸おんな旅	水野	甚太郎	三一〇
人生ロマン	みづき	くさを	三一
白鳥湖	白水	かおる	三一二
母子傘	柴田	よしかず	三一二
だめな女	芝山	和子	三二四
ラブ・ポジション	志賀	大介	三二五
狂いそうなお顔を見せて	篠田	定吉	三二六
夕陽ヶ丘めもりい	志摩	勝也	三二七
五ツ木慕情	周東	敬二	三二八
それでも幸福	秀生	明	三二九
おいしい思い出	司式	玉繪	三三〇
流水思慕	下野	登美子	三三一
拳の中の人生	新保	治平	三三二
小雨にけむる京都	柊	たけし	三三三



二人 人生	.....	広瀬	広波	.....	三四
おんなの夢は月見草	.....	平井	健一	.....	三五
水たまりの詩	.....	平野	ひろし	.....	三六
北の灯り	.....	平山	忠夫	.....	三七
帆かけ船	.....	諸我	聡一	.....	三八
人生談義	.....	持田	三郎	.....	三九
鳴門旅情	.....	茂田井	幸次	.....	四〇
飛鳥放浪	.....	関沢	新一	.....	四一
てのひらに想い出が	.....	眇田	榮一	.....	四二
女の願い	.....	砂見	爽	.....	四三
おうむ	.....	炭谷	昌彦	.....	四四
肩に無情の雨でした	.....	鈴木村	綱三	.....	四五
東京飛地	.....	鈴木	夜詩夫	.....	四六
港情話	.....	鈴木	宗敏	.....	四七
さくらんぼ追分	.....	鈴木	哲郎	.....	四八
うしろ指	.....	鈴木	きよ	.....	四九
恋がたき	.....	鈴木	昭一	.....	五〇

表紙のことば.....斎藤 茂.....三四

題 字 西 爽  
 表紙・イラスト 斎藤 茂

(二陽会入選)